

目次

- 1 枚目 添え状
- 2 枚目 令和6年年間行事予定と 日蓮宗聖日案内
- 3～6枚目 令和6年正月号 寺報
- 7枚目 2月4日(日)の節分星祭について
- 8枚目 節分星祭申込書
- 9枚目 3月17日(日)の春季彼岸会について
- 10枚目 彼岸会申込書
- 11～14枚目 本阿弥光悦の大宇宙(東京国立博物館)

令和6年1月1日

檀信徒各位

令和6年上半期の案内

加賀山乾性寺
住職 阪田祐光

合掌

いつも乾性寺の護持護法にご協力を賜り、誠にありがとうございます。昨年は大変お世話になりました。令和6年もどうぞよろしく申し上げます。

【同封資料】

◎本状 裏面：「本年行事スケジュール」

◎赤色払込取扱票

◎節分星祭会の案内状・申込書

◎春彼岸の案内状・申込書

節分星祭会・春彼岸会の案内状は、黄色の紙に両面印刷しています。

○正月の御札（希望者のみ）

○寺報（希望者のみ）

令和5年のあんのん基金の総額は、131,900円でした。

ご協力いただき、ありがとうございます。

寺院の行事は、修行であるとともに仏さまや先師、ご先祖さまへの報恩事業でもあります。戒名の「居士」「大姉」の授与は、多数の行事等に関わっていただいていることを前提としていますので、ご希望の方は積極的なご参加をお願いいたします。

参加：参列することや、申し込み、運営手伝いのほか、

行事の機会に合わせて法華経を写経し、寺院に送付することなど

申し込みのご入金は、口座振り込みでも承ります。

ゆうちょ銀行から 00960-7-131706 他行から ゆうちょ銀行（当座）〇九九支店 0131706

令和6年行事スケジュール（予定）

- 2月 4日 節分星祭会（13時～写経会、15時～読経）
- 2月15日 积尊涅槃会
- 2月16日 日蓮聖人御降誕会
- 3月18日 春季彼岸会（午前10時～）
- 4月 8日 积尊降誕会
- 4月28日 立教開宗会
- 7月12日 長寿院殿妙遠日久大姉供養会
- 8月11日 盂蘭盆施餓鬼会（午前9時～、午前11時～）
- 9月20日 秋季彼岸会（午前10時～）
- 11月 5日 日蓮聖人御会式（午前10時～）
- 12月 8日 积尊成道会

●は無参拝法要の可能性がります。参列前にご確認ください。

また、以下は「先師命日」と、「日蓮聖人御法難日」です。ご自宅でのお勤めの際、ご参考にしてください。

先師忌日

- | | |
|-------------------|-----------------------|
| 1月 1日（六老僧日持上人） | 1月21日（六老僧日朗上人）、 |
| 2月 7日（六老僧日興上人） | 2月26日（六老僧日昭上人）、 |
| 3月 8日（六老僧日頂上人） | 3月20日（常修院日常上人）、 |
| 6月 4日（伝教大師） | 9月 3日（六老僧日向上人）、 |
| 10月13日（日蓮聖人） | 11月 3日（乾性寺開山 乾性院日進上人） |
| 11月13日（関西弘通 日像上人） | 11月24日（天台大師） |

高祖法難会

- | | | |
|--------------|---------------|-------------|
| 5月12日（伊豆法難） | 8月27日（松葉谷法難） | 9月12日（龍口法難） |
| 10月10日（佐渡法難） | 11月11日（小松原法難） | |

申し込みのご入金は、口座振り込みでも承ります。

ゆうちょ銀行から 00960-7-131706 他行から ゆうちょ銀行（当座）〇九九支店 0131706

乾性寺寺報

令和六年一月号

今年の報告

【二月五日 節分星祭】

双葉書道教室の皆様とともに、節分星祭を厳修しました。檀信徒以外の方にもご参加いただき、皆様で書いた写経アートを大々的に飾りました。



【三月二十六日 檀信徒の研修会】

地元の約二十五の寺院の檀信徒の皆様とともに研修会をいたしました。住職は講師をさせていただき、皆様とともに「檀信徒とは何か」「お寺との付き合いとは何か」を考えました。

【四月】

無縁墓地の整理が始まりました。事務手続きに五年をかけた本事業は、それと同じくらいの時間をかけて整理を進めます。

【四月二十二日 N家百回忌】

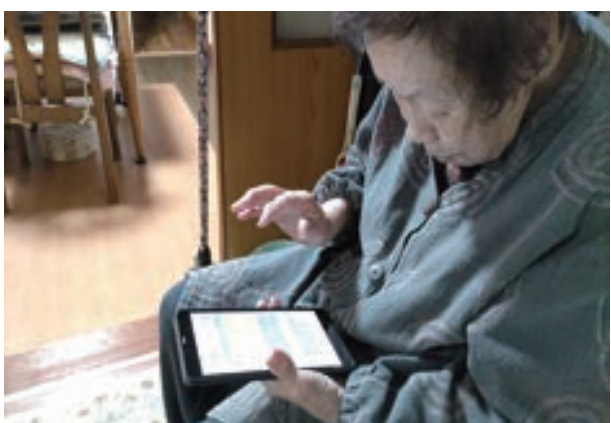
百回忌をお勤めしたのは初めてでした。誰も故人のことを知らないのですが、それでも実施されたご遺族の方にご立派だと思えます。とても明るい法事でした。

【五月十五日〜十七日 国際布教会議】

日蓮宗の海外布教をされている方々の会議に出席しました。また、昨年は身延山が開かれて七百五十年の節目でもあり、会議後は身延山にお参りしました。そこには多くの青年僧が集まり、地響きがするような大音声で「南無妙法蓮華経」とお唱えしておられました。

【余談】

住職の祖母、九十三歳にしてタブレットに挑戦中です。



【七月九日 音楽法要】

乾性寺開創のきっかけとなった長壽院殿妙遠日久大姉の法要をするにあたり、書道教室の皆様にご写経に取り組んでいただき、式中には二胡の演奏者の方に音楽を演奏していただきました。



【八月二十四日～三十一日

ブラジル法華経寺訪問】

現地で布教活動をされているお上人から誘われ、ブラジルを尋ねました。現地の信者の皆様はどなたも人が良く、熱い方々で、家族の一員のように迎えて

いただきました。彼らには時間を厳守するという概念はありませんが怠けているわけではなく、切り替えの巧みさには信者としての凄みを感じました。ブラジルを訪れる日が来るとは思ってもみませんでした。ぜひまた行きたいと今は思っています。



【十月五日 御会式】

日蓮聖人の命日法要である御会式。もつとも大切な行事であるものの、それに相応しい結果が得られていないよ

うな気がしていました。そこで今年は、一日がかりで行事を厳修し、最後の法要には僧侶を志す二名の小学生の方に参加をしていただきました。彼ら二人には式中での役割も割り当て、報恩のために力を尽くしていただきました。来年もぜひ多くの方にご参列いただきたいと思えます。よろしくお願いいたします。





二〇三二年に迎える日蓮聖人御入滅七五〇遠忌のため、報恩事業に取り組んでいます。

昨年は、二枚の作品の完成を見る事ができました。この頁と左の頁で紹介いたします。

上は緒方沁(おがた しん)様にお描きいただいたイラストで、「ほとけの国(菩薩)」と名づけました。水の中を沈んでいく少年が、白い蓮を胸に抱えています。少年は帰らぬ人となりますが、この作品からは悲壮感を超越した神聖さを感じるのではないのでしょうか。

本作の下敷きは『銀河鉄道の夜』で、モデルとなったのは自分を犠牲にして友人を救ったカムパネルラです。

仏弟子(菩薩)としての人生は、自己犠牲という言葉無しに語ることは難しいように思います。しかし単に自分を痛めつけるだけでは、無意味な苦行に

なってしまいます。私たちは何のために自分を捨てるのか。

自分を無駄にすること無く、より大きなもののために自分の今までの価値観を捨てる事ができれば、菩薩として生きることに基づくのかもしれない。

【作者ご紹介】

緒方沁(おがた しん)さま
和の文化と自然を愛する絵描き。
関西を中心に個展などの展示活動をしている。フリーのデザイナーとしても活動中。

作者HP : <https://ogata-shin.jimdofree.com/>





【日向上人(にこうしょうにん)】

日蓮聖人の後継者・六老僧の一人。現在の日蓮宗の祖山である身延山久遠寺の二代目住職(初代は日蓮聖人)です。そのことから、払子(ほつすゝ)長い毛を束ねた仏具で、住職であること象徴するもの(す)を持った姿で描いていただきました。

日向上人は弁舌に優れた方であり、身延山で長く門弟たちの教育に励みました。



【長壽院殿妙遠日久大姉】

当山開創のきっかけになった女性。今年の命日法要に合わせて描いていただきました。

【作者ご紹介】

南健吾(みなみ けんご)さま

一九八三年福岡県生まれ。東北芸術工科大学・洋画科を卒業し、東京と福岡で展覧会を開く。十二年より四年間渡仏、ボルドーを拠点にボルドー、パリなどで展覧会を開く。日本では行わなかったギャラリー以外での展示や共同制

作、ライブパフォーマンスやルーブル美術館での団体展への参加など様々な経験を経て、日本へ帰国。

黒田清輝も滞在したグレージュ・シユル・ロワン市で市長賞を受賞、美術館へ作品を寄贈。ドイツのワイン「ワインザー・ボン・エルバッチ」のボトルラベルにイメージが採用される。帰国後は特別支援学校で教鞭をとりながら香椎宮でのグループ展を中心に作品を発表。美術と写真制作を事業とした会社「イロみな」を二年四月より起業。

イロみなHP : iromina.com

作家HP : <https://kengominami.com/>

YouTube : [Kengominami](https://www.youtube.com/channel/UCkengominami)



令和6年節分星祭会について

令和6年2月4日（日） 乾性寺本堂にて

13時～ 双葉書道教室による写経会（要申込）

15時頃～ 節分星祭会

節分では、お守り、特別祈願、納経を行います。

1月末日までにお申し込みください。

1. お守りを希望する方（一名につき500円程度）

→希望される方のお名前・ふりがな・生年月日・身体の性別が必要です

→空欄がある場合は、別のお守りを用意します

2. 特別祈願を希望する方（祈願一件につき5,000円程度）

→式中に読み上げをします

→希望される方のお名前・ふりがな・祈願内容が必要です

祈願内容一例

家内安全 身体健全 交通安全 安産成就 商売繁栄 心願成就

良縁成就 合格祈願 除災得幸 開運厄除 子宝祈願 当病平癒

3. 納経の方（お布施は自由）

法華経の好きな個所を写経した上で願いごとを書き、封をして送ってください。

※ご希望の方にはお手本をお送りします

封筒の表には、「納経」と書いてください

→お経を書く紙も、筆記具も自由です。

→開封せずにお焚き上げするので、中に金品や手紙は入れないでください

表面：節分星祭会 裏面：春季彼岸会

春彼岸会と墓回向について

春季彼岸会

3月17日（日）10時開式 乾性寺本堂にて

彼岸会では、故人やご先祖の供養を行います。

3月10日までにお申し込みください。

- ・ 供養は、一霊位につきお名前の読み上げのみが3千円程度、
塔婆あり（読み上げ含む）が4千円程度となります。

【参考（数え方）】

- ・ 自分の先祖すべての供養をしたい → ○○家先祖代々 で一霊位
- ・ 自分の先祖と、両親の供養をしたい → ○○家先祖代々と両親 で三霊位
- ・ お塔婆を墓地に立てるのは、ご自身でお願いします。
→ 連絡をいただければ運んでおきます（乾性寺墓地のみ）

以下の日時に乾性寺墓地で墓回向を行います。お声がけください。

3月17日（日） 法要後～16時

表面：節分星祭会 裏面：春季彼岸会

乾性寺塔婆申込書

春秋彼岸会用

法号・俗名・〇〇家先祖代々等

(書かれた通りに読みます)

どちらかに○を

お願いします

塔婆希望・読み上げのみ	塔婆希望・読み上げのみ	塔婆希望・読み上げのみ	塔婆希望・読み上げのみ	塔婆希望・読み上げのみ	塔婆希望・読み上げのみ	塔婆希望・読み上げのみ

塔婆：……一靈位につき四千円
 読み上げ……一靈位につき三千円

供養料合計	
申込者名	

申込先

FAX 072-681-3559

メール kenshouji@kagasana.jp

始めよるか、天才観測。

特別展

本阿弥 光悦の 大宇宙



国宝 舟橋跨監視箱
本阿弥光悦作
江戸時代、17世紀
東京国立博物館蔵

2024年
1月16日[火]—3月10日[日]

休館日：月曜日、2月13日[火] ※ただし、2月12日(月・休)は開館
開館時間：午前9時30分～午後5時 ※入館は開館の30分前まで

TNM 東京国立博物館 平成館
TOKYO NATIONAL MUSEUM (UENO PARK)
(上野公園)

主催：東京国立博物館
NHK、NHKプロモーション、東京新聞
協賛：光村印刷
協力：日本文化芸術の礎

Special Exhibition

The Artistic Cosmos of Hon'ami Kōetsu

本阿弥光悦(ほんあみこうえつ・1558~1637)は戦乱の時代に生き、さまざまな造形にかかわり、革新的で傑出した品々を生み出しました。それらは後代の日本文化に大きな影響を与えています。しかし光悦の世界は大宇宙(マクロコスモス)のごとく深淵で、その全体像をたどることは容易ではありません。

そこでこの展覧会では、光悦自身の手による書や作陶にあらわれた内面世界と、同じ信仰のもとに参集した工匠たちがかかわった蒔絵(まきゑ)など同時代の社会状況に回答した造形とを結び付ける糸として、光悦とその一族が篤く信仰した当代の法華(ほっけ)町衆の社会についても注目します。造形の世界の最新研究と信仰のあり様とを照らし合わせることで、総合的に光悦を見通そうとするものです。

「生涯へつらい候事至てきらひの人」で「異風者」(「本阿弥行状記」)といわれた光悦が、篤い信仰のもと確固とした精神に裏打ちされた美意識によって作り上げた諸芸の優品の数々は、現代において私たちの目にどのようなように映えるのか。本展を通じて紹介いたします。

本阿弥光悦の深淵なる美意識を

信

光悦の篤い信仰心を
うかがい知ることで
できる品々を紹介



[[法華經] 第8巻・巻首]

重要文化財

紫紙金字法華経并開結

平安時代・11世紀

京都・本法寺蔵

※会期中、部分巻替えがあります。

陶

個性的なフォルムをみせる
名碗の数々でたどる、
光悦の創造の軌跡



重要文化財

黒楽茶碗 銘時雨

本阿弥光悦作 江戸時代・17世紀
愛知・名古屋市博物館蔵



[部分]

光悦充実期の代表作、全巻一挙公開

優品の数々を通してたどる

漆

独特のフォルムと
素材の質感、
文学世界と書が
織りなすイメージの連環



国宝

舟橋時絵硯箱

本阿弥光悦作 江戸時代・17世紀 東京国立博物館蔵



[側面]

光悦の指料と伝わる
唯一の刀剣、
約40年ぶりの公開。

刀

刀剣を見極める
本阿弥家の
審美眼によって
選り抜かれた
名刀たちの競演



重要美術品

短刀 銘兼氏 金象嵌花形見

志津兼氏 鎌倉~南北朝時代・14世紀

(刀装)
刻箱変り繪忍ぶ草
時絵合口腰刀
江戸時代・17世紀



書

光悦の美意識が
高く昇華した
書の魅力を
余すところなく体験



重要文化財

鶴下絵三十六歌仙和歌卷

本阿弥光悦筆/橋屋宗達下絵 江戸時代・17世紀 京都国立博物館蔵

刀剣鑑定の名門家系の生まれ

光悦自身も優れた目利きの力量を持ち、徳川將軍家や大名たちに一目置かれました。

総合芸術家の光悦

家職(家業)だけでなく、能書(書の名人)として知られ、さらに漆芸や陶芸、出版などさまざまな造形に関わりました。

本阿弥光悦彫像
伝本阿弥光甫作
江戸時代・17世紀

家康が瞠目した、
美の異風者。
本阿弥光悦とは…



光悦芸術のすばらしさ

今に伝わる光悦が手がけた品々の多くが、国宝や重要文化財に指定されるなど、高く評価されています。

篤い信仰の人々との強い結束

京都の町衆(裕福な商工業者)の一員として、さまざまな職種の工人(職人)たちと信仰と血縁を重ねて、広範なネットワークを築いていました。

※展示期間の表記のない作品は通期展示を予定しています。

音声ガイド



俳優 中谷美紀さんのナビゲーションで本阿弥光悦の大宇宙を観測します。

貸出料金
650円(税込)

観覧料(税込) ※()内は前売料金

一般: 2,100円(1,900円) 大学生: 1,300円(1,100円) 高校生: 900円(700円)

※中学生以下、障がい者とその介護者1名は無料。入館の際に学生証、障がい者手帳等をご提示ください。

※前売券は12月1日(金)から1月15日(月)まで、展覧会公式サイト、各種プレイガイドほかで販売。

※本展は事前予約不要です。混雑時は入場をお待ちいただく可能性がございます。

※最新の券売情報の詳細は展覧会公式サイトをご確認ください。

展覧会公式サイト <https://koetsu2024.jp/>

展覧会公式X(Twitter) @koetsu2024



展覧会
公式サイト

※会期中、一部作品の展示替えを行います。

※展示作品、会期、展示期間等については、今後の諸事情により変更する場合があります。最新情報は展覧会公式サイト等でご確認ください。

TNM 東京国立博物館 平成館
TOKYO NATIONAL MUSEUM (上野公園)

〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9

東京国立博物館公式ウェブサイト <https://www.tnm.jp/>

JR 上野駅公園口、または鶯谷駅南口より徒歩10分

東京メトロ 銀座線・日比谷線 上野駅、千代田線 根津駅より徒歩15分

京成電鉄 京成上野駅より徒歩15分

お問い合わせ: 050-5541-8600 (ハローダイヤル)

